



気を付けたい 自家療法

昔からある民間療法・自家療法には、皮膚科専門医からみて、使い方のまちがいも含めて、あぶなっかしいものがたくさんあります。今回はその中から代表的なものを選んでみました。

アンモニア水



アンモニア水は虫さされなどによく使われていますが、うすめずに外用するとかぶれます。また、長時間湿布すると深いヤケドをおこします。

いわゆる水虫薬



豆腐の防腐剤を水虫の治療に使ってたかれた例です。

センニン草



センニンソウ湿布は民間療法として、肝臓の病気や風邪・扁桃腺炎などの治療に用いられています。しかし、水ぶくれを伴った激しい皮膚炎をひきおこします。

硫黄のはいた入浴剤



この種の入浴剤を濃い濃度で使うと皮膚に障害を与えます。

ニンニク



すりおろしたニンニクで湿布をすると激しい皮膚炎をおこします。

ナイロンタオル



ナイロンタオルは使い慣れるとたしかに気持ちいいものです。しかし、皮膚には刺激が強すぎてキズがつきます。長年使い続けると骨の出っ張った部分の皮膚が黒ずんでくることがあります。

平成3年11月12日は、皮膚の日です。